



防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策 進捗状況 令和3年～令和7年 (令和4年度末の状況)

令和5年6月更新
長野県建設部

目次

1 長野県における「5か年加速化対策」の取組方針

2 主な取組の達成目標と進捗状況

主な取組

- 1 道路ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策
 - (1) 道路の法面・盛土の土砂災害防止対策
 - (2) 道路ネットワークの機能強化対策
- 2 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策
 - (3) 流域治水対策
 - (4) 「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策
 - (5) 防災公園の機能確保に関する対策
- 3 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策
 - (6) 道路施設の老朽化対策
 - (7) 河川施設の老朽化対策
 - (8) 砂防施設の老朽化対策
 - (9) 都市公園施設の老朽化対策

長野県における「5か年加速化対策」の取組方針

- 令和元年東日本台風から3年連続で豪雨による甚大な被害が発生しており、県土の強靱化は最重要課題
- また、概ね10年後には、道路橋の約63%、トンネルの約42%、河川管理施設の約20%が建設後50年を経過する見込みであり、適切かつ計画的な維持管理・更新を進める必要がある
- 「5か年加速化対策」を最大限活用し、災害に強いインフラ整備およびインフラの老朽化対策を計画的に進めることにより県土の強靱化を推進



R元.10 東日本台風により千曲川堤防が決壊
(一)千曲川 長野市 穂保



令和2年7月豪雨により大規模な山腹崩壊が発生
(国)418号 天龍村 足瀬



令和3年9月の大雨により土石流が発生
茅野市下馬沢川

⇒5か年加速化対策を計画的に進めるため、達成目標を設定し、対策を実施中

長野県における「5か年加速化対策」の達成目標

区分	対策項目	本県の成果目標
道路	道路法面・盛土の土砂災害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・5か年加速化対策を実施するにあたり点検を実施した結果、緊急輸送道路において通行止めリスクの高い箇所が91箇所あることが確認 ・令和7年度までに54%(49/91箇所)の対策を実施し、通行止めリスク箇所の解消を推進
	道路ネットワークの機能強化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・重要物流道路のダブルネットワークとなる路線のうち、近年の通行止め実績や災害履歴等を踏まえ、特に対策の必要性が高い箇所の整備を実施
	道路施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・法定点検の結果、987橋において緊急または早期に対策が必要であることが確認 ・令和7年度までに修繕措置等の着手率100%(987/987橋)とする
河川	流域治水対策(河川)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に実施した重要インフラの緊急点検において、土砂堆積等により流下能力が阻害され、洪水時等により、25戸以上の家屋が浸水するおそれのある河川が160河川あることが確認 ・令和7年度までに全ての河川において樹木の伐採や堆積した土砂の撤去を実施し、洪水氾濫による浸水被害を防止
	河川施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理施設の管理用制御処理設備等の老朽化が進んでいる ・令和7年度までに、全ての管理用制御処理設備等の更新及び改良を完了させ、確実な情報提供を行う
砂防	流域治水対策(砂防) 「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害特別警戒区域内に要配慮者利用施設が多数存在 ・令和7年度までに48%(64/132施設)の対策を実施し、要配慮者利用施設の安全の確保を推進
	砂防施設の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防施設の緊急点検の結果、緊急に修繕・改築する必要がある設備及び区域が244設備及び区域が確認 ・令和7年度までに77%(187/244施設及び区域)の対策を実施し、施設の機能及び性能を適切に維持・確保する取組を推進
都市公園	防災公園の機能確保に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画に位置付けられている防災公園について、防災機能強化として、公園施設の非常電源確保やバリアフリー化を行い、災害時における安全・安心な避難場所の提供および避難環境の快適化を実施
	都市公園の老朽化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に実施した健全度調査の結果、全体的に劣化が進行している等の施設が414施設あることが確認 ・令和7年度までに61%(254/414施設)の対策を実施し、公園利用者の安全対策を推進

道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

災害時に避難・援助・物資供給の応急活動を迅速に行うため、緊急車両の通行を確保すべき道路(緊急輸送道路)について、道路斜面等の要対策箇所等、通行止めのリスクの高い箇所の対策を行い、災害時においても道路利用者の安全・安心を確保します。

現状と課題

- ・ 災害時に避難・援助・物資供給の応急活動を迅速に行うため、緊急車両の通行を確保すべき道路(緊急輸送道路)をあらかじめ定めています。
- ・ しかし、5か年加速化対策を実施するにあたり、新たに点検を実施した結果、道路斜面等の要対策箇所に加え、道幅が狭く近年の落石等により通行止めの実績があるなど、通行止めリスクの高い箇所(対策必要箇所)が91箇所確認されました。



いなこぎほしうえ
一般国道158号 松本市 稲核橋上(令和元年7月)

(代表事例)一般国道151号 阿南町 落合

一般国道151号は下伊那地域を縦断し愛知県豊根村を結ぶ第二次緊急輸送道路です。
当該区間で複数存在する落石や斜面崩落の危険箇所の対策を行い、災害時の通行止めリスクを解消します。

6.2~3豪雨による道路の被害状況

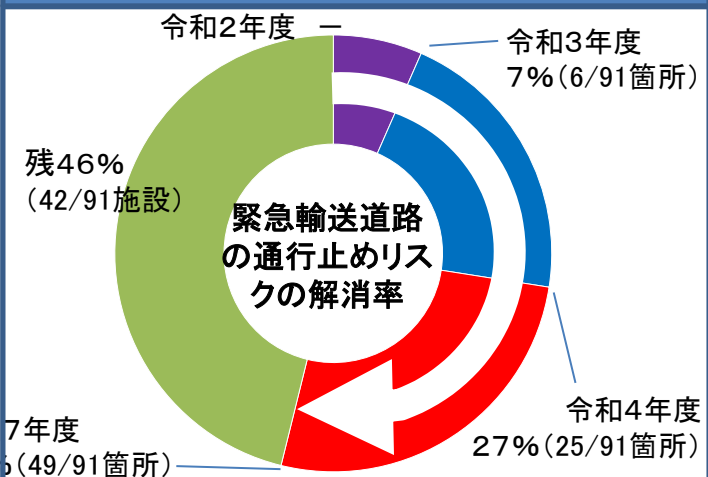


令和5年6月2~3日豪雨

連続234mm、時間最大29mm(阿南観測所(気))
県内21路線28箇所
全面通行止め発生

国道151号
被害なし・通行止めなし

5か年加速化対策の達成目標



※5か年加速化対策を実施するにあたり、新たな点検により判明した箇所を対象とすることから、R2年度「-」としている

対策と効果

- ・ 斜面をコンクリートの枠やネットで覆い、崩落や落石を防ぎます。
- ・ 斜面崩落や落石があっても、通行止めを生じさせないよう、バイパス等により危険箇所を回避します。



対策前



対策後

ほつき 阿南町 発起(2)工区

道路ネットワークの機能強化対策

平常時・災害時を問わず、経済や生活を支えるライフラインとなる安定的な輸送を確保するため、物流上重要な道路(重要物流道路)のダブルネットワークとなる路線のうち、近年の通行止め実績や災害履歴等を踏まえ、新たな点検により抽出された特に対策の必要性が高い箇所の機能強化を図り、道路ネットワークの安全性・信頼性を向上します。

➤ 現状と課題

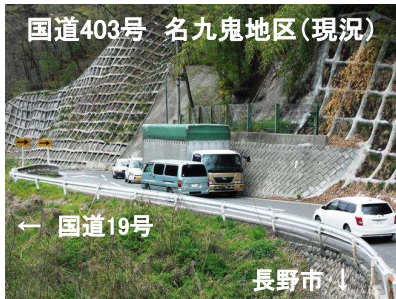
- ・物流の更なる円滑化等を図るため、物流の観点から重要な道路を「重要物流道路」として国土交通大臣が指定しています。
- ・近年、激甚化・頻発化する災害等により、県内の重要物流道路等の主要な幹線道路に通行止めが発生し、県民生活に多大な影響を及ぼしています。

➤ 対策と効果

- ・5か年加速化対策を実施するにあたり、近年の通行止め実績や災害履歴等を踏まえ実施した新たな点検により抽出された特に対策の必要性が高い箇所の整備を実施します。

(代表事例) (国)403号 安曇野市 名九鬼～木戸

国道403号における幅員狭小区間の拡幅改良を行い、重要物流道路である国道19号の迂回機能の強化を図り、経済や生活を支えます。



国道403号 名九鬼地区(現況)

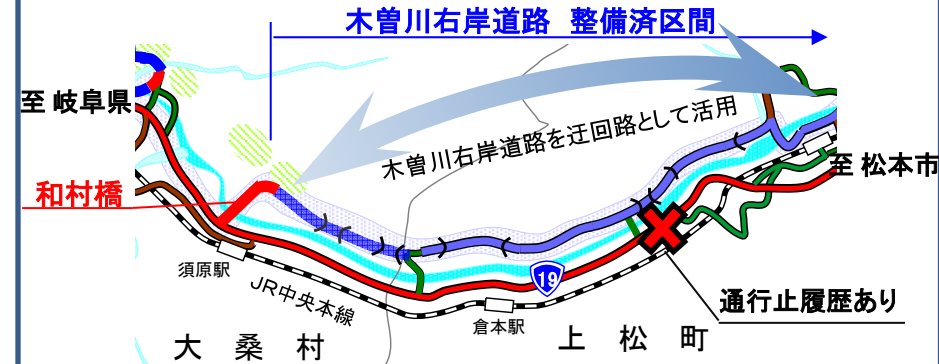
国道19号が通行止めの際、迂回路として活用



(代表事例)

(主)上松南木曾線 大桑村 和村橋 (木曾川右岸道路)

木曾川右岸道路の整備(和村橋の架け替え)を行うことで、重要物流道路である国道19号における、近年の災害で通行止となった区間のダブルネットワーク化を図り、経済や生活を支えます。



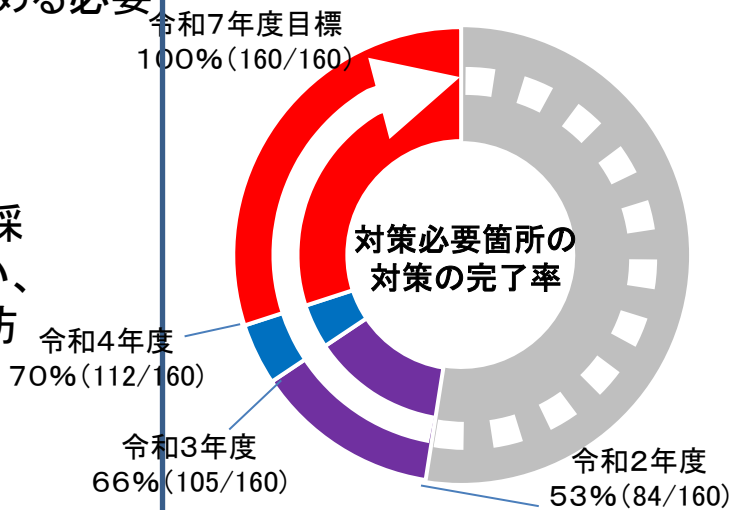
河川内に繁茂した樹木や堆積した土砂により流下能力が阻害され、家屋が浸水するおそれのある河川について、樹木伐採及び土砂撤去の対策を行い、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ります。

➤ 現状と課題

- 平成30年度に実施した重要インフラの緊急点検において、土砂堆積等により流下能力が阻害され、洪水時において越水等により、25戸以上の家屋が浸水するおそれのある河川が160河川あることが確認されました。
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」において、緊急性の高い84河川について対策が完了しましたが残る76河川においても、早急に対策を実施し、浸水被害の防止に努める必要があります。



5か年加速化対策の達成目標

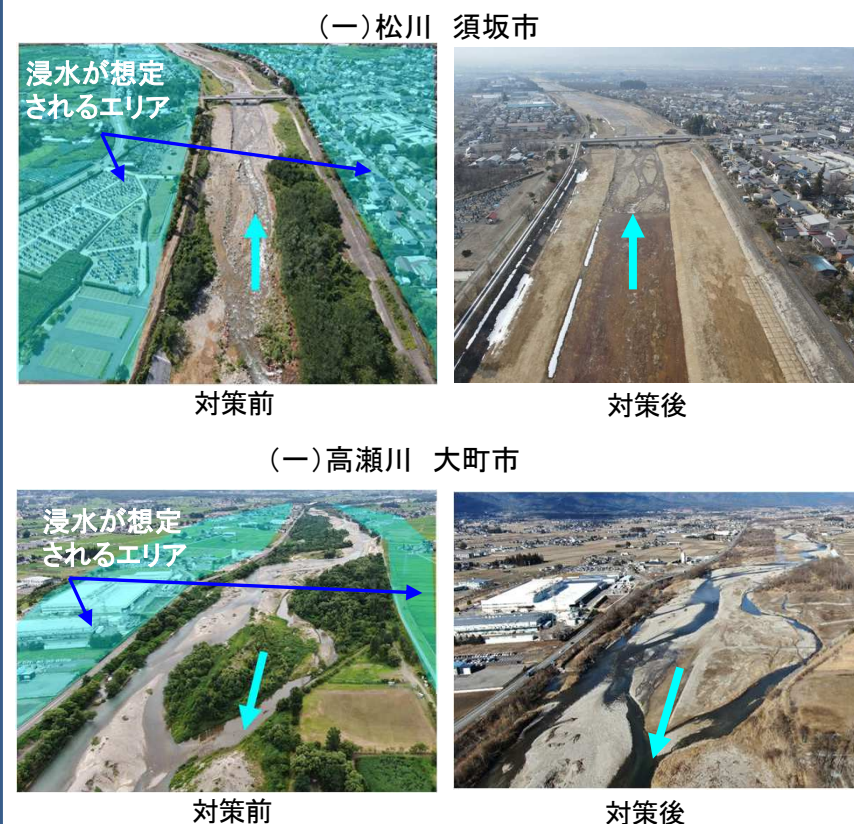


➤ 対策と効果

- 河川内に繁茂した樹木の伐採や堆積した土砂の撤去を行い、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ります。

(代表事例)

市街地を流下する(一)松川 須坂市や(一)高瀬川 大町市等において、樹木伐採及び堆積土砂撤去を行い、洪水氾濫による浸水被害の防止を図ります。



「いのち」と「暮らし」を守る土砂災害対策

土砂災害のおそれのある箇所に立地する要配慮者利用施設について、重点的に砂防関係施設の整備を実施することで、地域の安全・安心な暮らしを確保します。

➤ 現状と課題

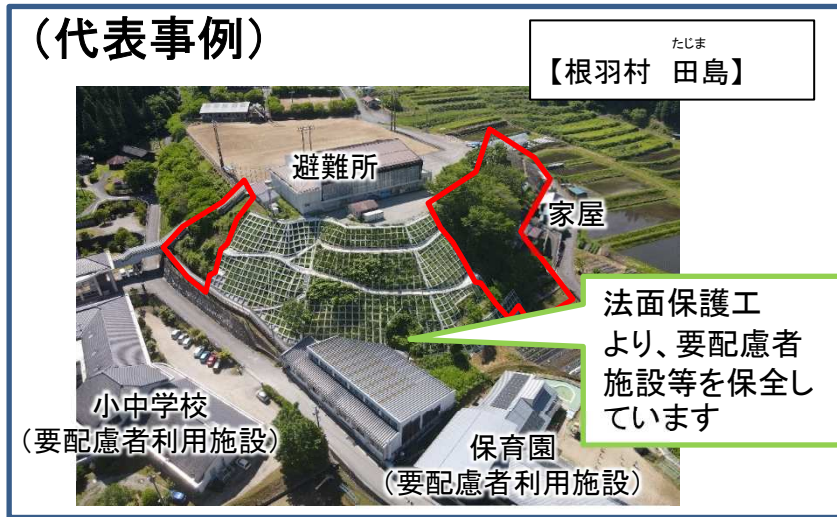
- 近年の気候変動により、各地域で土砂災害が激甚化・頻発化しています。
- 災害時の避難行動に支援が必要とされる方が入所する要配慮者利用施設のなかにも、土砂災害のおそれがある場所に立地している施設が多数あります。

※土砂災害特別警戒区域内にある
要配慮者利用施設数
132施設（令和2年度調査時点）

➤ 対策と効果

- 要配慮者利用施設を保全する砂防関係施設を優先的に整備し、施設職員への防災教育と合わせて、ソフトとハードが一体となった土砂災害対策を進めます。

(代表事例)



(砂防堰堤の効果事例)

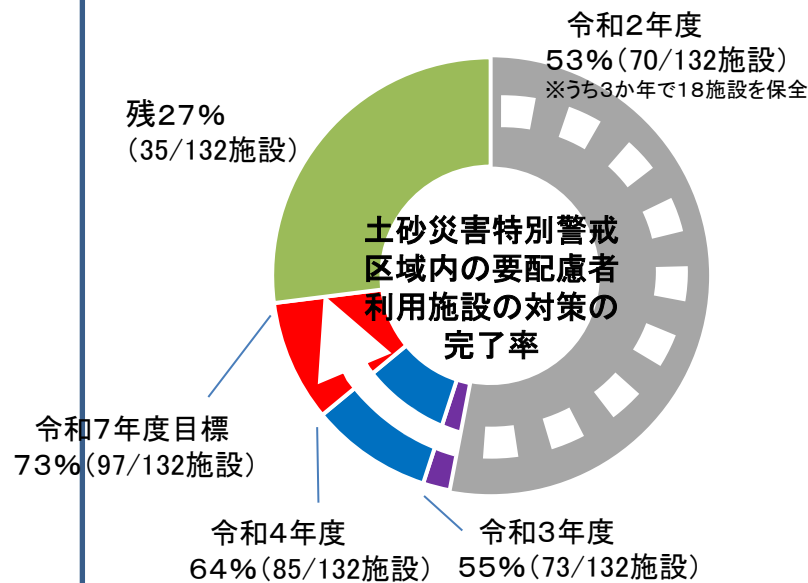
土石流発生前 (R3年.10月撮影)



土石流発生後 (R4.8.8撮影)



5か年加速化対策の達成目標



防災公園の機能確保に関する対策

地域防災計画に位置付けられている防災公園について、防災拠点として機能確保するための整備を行い、災害時においても、安全・安心な避難所の提供および避難環境の快適化を図ります。

➤ 現状と課題

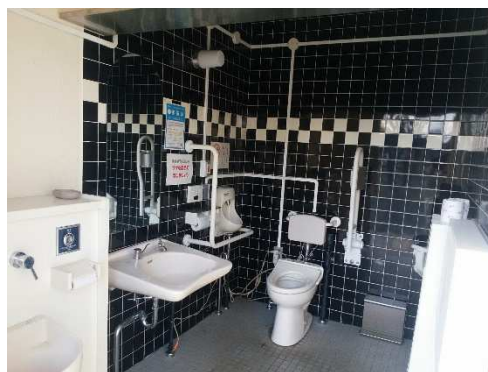
地域防災計画において、飯田運動公園、松本平広域公園、若里公園が広域防災拠点、一時避難地として位置付けられているため、防災拠点として機能確保のための整備が必要となっています。

➤ 対策と効果

防災機能強化として、公園施設の照明施設の確保やバリアフリー化を行い、災害時における安全・安心な避難所の提供および避難環境の快適化を図ります。

(代表事例)トイレ更新(飯田運動公園)

広域防災拠点として位置付けられている公園のトイレをバリアフリー化することにより、災害時における避難環境の快適化を図ります。



対策後：トイレをバリアフリー化

(代表事例)非常用電源の確保(松本平広域公園)

広域防災拠点として位置付けられている体育館の非常用電源確保を行うことにより、災害時における安全・安心な避難所を提供します。



体育館（広域防災拠点）



非常用発電設備の整備イメージ

(代表事例)屋根修繕(松本平広域公園)

広域防災拠点として位置付けられている体育館の屋根修繕を行うことにより、災害時における安全・安心な避難所を提供します。



対策前：トップライトの状況



工事中の状況

道路施設の老朽化対策

法定点検で確認された、緊急又は早期に対策が必要な橋梁やトンネルの全てにおいて修繕措置等に着手し、道路のネットワーク機能を適切に維持します。

➤ 現状と課題

【橋梁】

県が管理する3,820橋梁について、一巡目の法定点検(H26～H30)を行ったところ、987橋において緊急又は早期に対策が必要であることが確認されました。

この987橋のうち、令和2年度末時点で修繕措置等に着手した橋梁は、359橋(修繕措置等の着手率36%)

残りの橋梁についても、早期に修繕措置等に着手する必要があります。

損傷事例



桁

下部工

(代表事例)

まつもとし つがざくらばし
【国道158号 松本市 柵桜橋】



国道158号は、福井市を起点とし、岐阜県を経て中信地域を結ぶ第1次緊急輸送路であり、また松本市街地より上高地、乗鞍にアクセスする観光道路です。

老朽化した柵桜橋の修繕措置を行い、国道158号の緊急輸送道、観光道路としての機能を適切に維持します。

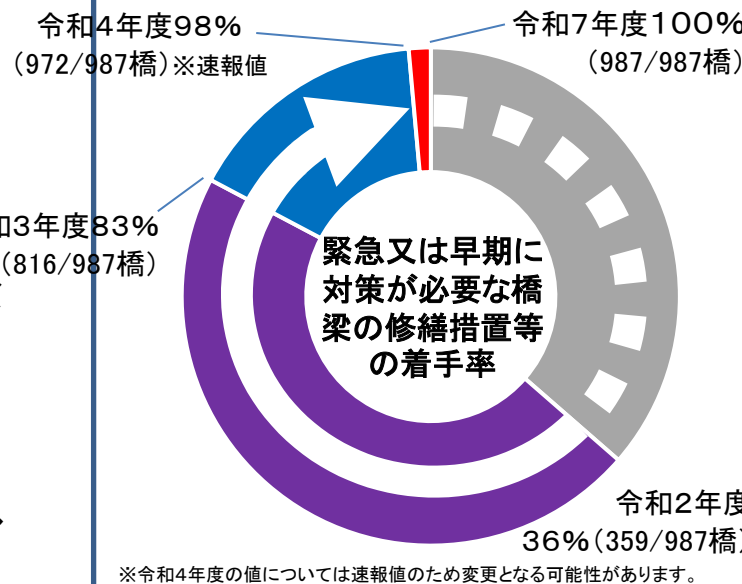
➤ 対策と効果

緊急又は早期に対策が必要な全ての橋梁に修繕措置等を行い、長寿命化を図ります。

【対策例】

- ・主桁、橋台などにおけるひび割れ補修工・断面修復工
- ・床板における床板防水工、床板打換工
- ・支承部における支承防錆工、支承取替工

5か年加速化対策の達成目標



対策前: 損傷状況



対策後: 床板補修完了

河川施設の老朽化対策

建設後20年以上経過し、老朽化している県管理の16ダム及び釜口水門について、長寿命化計画に基づき、管理用制御処理設備等の更新及び改良を行い、洪水時における適切なダム・水門操作や下流域への確実な情報提供を行えるようにします。

➤ 現状と課題

- ・ダム、水門(浅川ダム除く)は、建設後20年以上経過し、管理用制御処理設備等の老朽化が進んでいる。
- ・このため、長寿命化計画に基づき、電気設備や機械設備について、更新及び改良を行う必要があります。

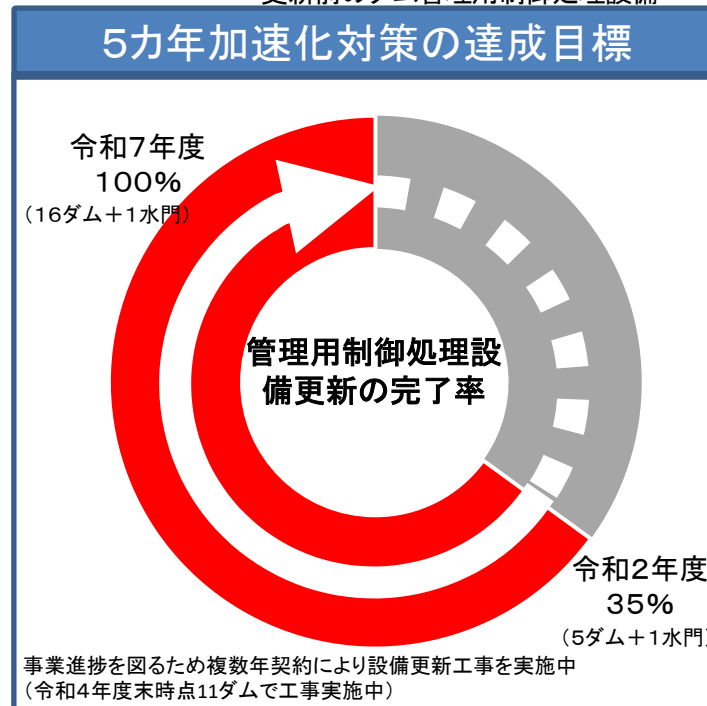


設備の老朽化が進んでいる

更新前のダム管理用制御処理設備

➤ 対策と効果

- ・老朽化したダム及び水門のゲート等を操作する管理用制御処理設備を更新します。
- ・放流警報設備及び監視装置等の更新を行い、下流域への確実な情報提供が行えるようにします。



(代表事例)

すそばな

裾花ダム 長野市

管理用制御処理設備更新

老朽化が進んでいるダム管理用制御設備や監視装置を更新することにより、洪水時における確実なゲート操作や情報提供が可能となり、ダム下流域の安全・安心な生活が確保されます。

管理用制御設備更新後



各種設備の位置情報が模式的に表示され、操作が容易となる

砂防施設の老朽化対策

これまで整備した砂防施設の機能低下を防止するため、修繕等の老朽化対策を実施し、施設の機能及び性能を適切に維持・確保することにより、地域の安全・安心な暮らしを確保します。

現状と課題

- 近年、気候変動の影響による台風や豪雨の増大により各地域で土砂災害が多発しています。
- 砂防施設の緊急点検の結果に基づき、要対策と判定された施設が多数あります。

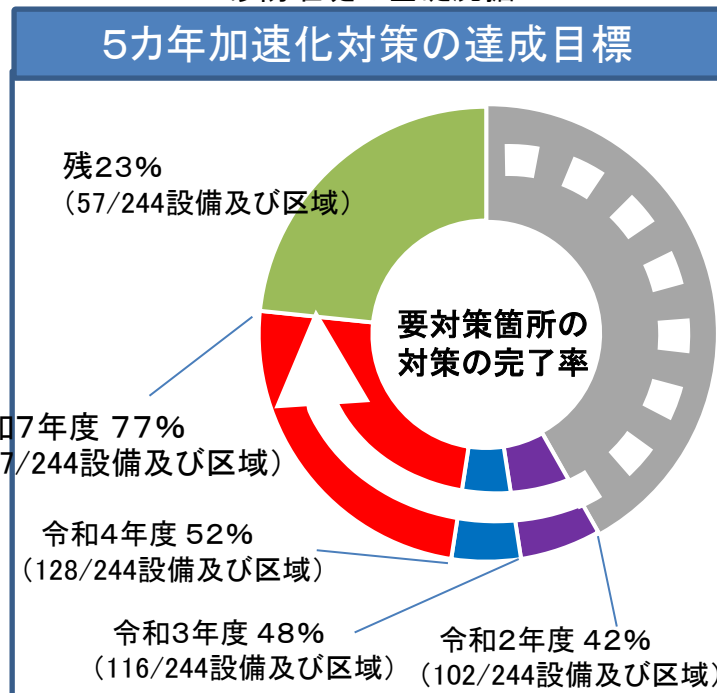
※要対策箇所のうち緊急的に修繕・改築する設備及び区域数
244設備及び区域(平成27年度末時点)



砂防堰堤の基礎洗掘

対策と効果

- 要対策と判定された砂防関係施設について、改築や修繕等の老朽化対策を実施し、機能の回復と向上を図ります。



(代表事例)

●砂防堰堤の改築



ひび割れ、欠損



●地すべり防止施設の修繕



排水施設の破損



●急傾斜地崩壊防止施設の補強(増厚)



擁壁の補強



都市公園の老朽化対策

長野県公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の老朽化対策を行い、公園利用者の安全を確保します。

➤ 現状と課題

公園施設の約8割が設置後20年以上経過しており、施設破損前に計画的な更新・交換を行うことにより、公園利用者の安全を確保する必要があります。

令和2年度に実施した健全度調査の結果、414施設において部分的または全体的に劣化が進行していることが確認されました。

➤ 対策と効果

長野県公園施設長寿命化計画(R3.3改定)に基づき、R7年度までに部分的または全体的に劣化が進行している施設について、優先的に更新・改築を行い、公園利用者の安全を確保します。

(代表事例)

松本平広域公園(松本市・塩尻市)

老朽化したドッグランを更新することにより、利用者の安全を確保



更新前



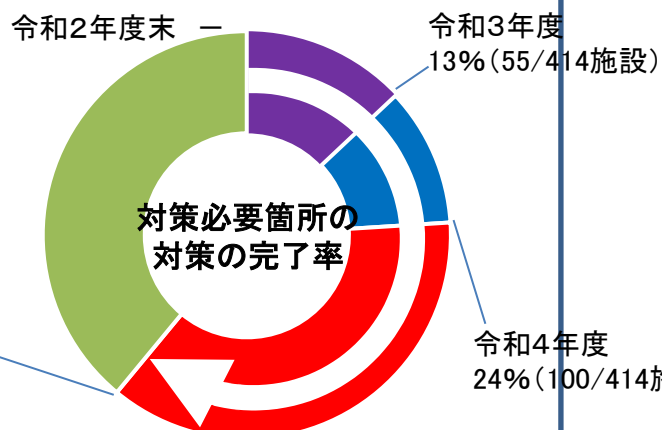
更新前



更新後



5か年加速化対策の達成目標



※長野県公園施設長寿命化計画をR3.3に見直したことから、R2年度「-」としている。